

明日からすぐ実践できる!

〔シリーズ特集〕

患者の安全・QOLを守る エキスパートの

5つの極意

転倒・転落予防編

入院患者のQOLを著しく低下させかねないことの中には、
看護師の介入によって未然に防げるものがあります。

それらに関して、エキスパートが考えている「特に大切な“極意”」を5つに絞って示します。



【執筆】
泉 君香
いずみ・きみか

一般財団法人永頼会 松山市民病院
看護部看護師長／医療安全管理者
2002年松山市民病院に就職。一般病棟にて外
科・呼吸器外科・心臓血管外科・脳神経外科・
泌尿器科・血管内科などの業務を経験。2023年
より医療安全管理者として従事している。



【執筆】
曾我 孝
そが・たかし

一般財団法人永頼会 松山市民病院
リハビリテーション室課長補佐／
理学療法士
2005年松山市民病院に就職。2023年より転倒予
防対策チームおよび医療安全推進者に所属し
ている。



【執筆】
餌原洋輔
えばら・ようすけ

一般財団法人永頼会 松山市民病院
リハビリテーション室主任／作業療法士
2012年松山市民病院に就職。2023年より転倒予
防対策チームおよび医療安全推進者に所属し
ている。

CONTENTS

- P.74 ❶ 患者の転倒・転落リスクの見きわめ
- P.77 ❷ 多職種での情報共有
- P.79 ❸ 「患者とともに」「何度も」行う対策の検討
- P.81 ❹ 多職種予防ラウンド
(ウォーキングカンファレンス)の実施
- P.83 ❺ 重症化予防の観察・記録の徹底

私たちが考える「転倒・
転落予防“5つの極意”」

